

改善報告書

令和元年 7 月 26 日

1. 大学名：東京家政学院大学

2. 認証評価実施年度：平成 28 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1 学生の受け入れ

○生活デザイン学科及び人間福祉学科の定員充足率が 0.7 倍未満になっているので、両学科とも定員充足の向上に向けた早急な取組みを行うよう改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 学生の受け入れについて

指摘のあった 2 学科について、平成 30 年度に生活デザイン学科の入学定員を 40 名減じ、また、人間福祉学科（入学定員 60 名）の学生募集を停止した。このことにより、新たに栄養士養成施設の指定を受ける食物学科（入学定員 70 名）を新設し、また、健康栄養学科（入学定員 105 名）を人間栄養学部人間栄養学科（入学定員 140 名）に改組し、大学全体での定員充足の向上に取り組んだ。

【大学全体の入学定員充足率等推移】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
入学定員	505	505	510	510
入学者数	400	434	463	437
入学定員充足率	79.2%	85.9%	90.8%	85.7%

しかしながら、収容定員充足率としては、依然として定員充足には至っていないため、今後さらに入学者増加策を充実させ、継続的な改善に取り組む。

学生募集について、平成 30 年度から受験業界出身者で学生募集活動に精通している者をアドミッションセンター長に招聘し、アドミッションセンターを副学長、事務職員による教職協働の組織として再編した。具体的には、訴求効果の高い広告媒体への配分シフト、高校訪問の見直し、オープンキャンパスでの学生スタッフの積極的登用など、高校生の共感を得るための工夫を行っている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

2-1-1 改組を決議した理事会議事録【平成 28 年度第 11 回理事会議事録(抄)】

2-1-2 東京家政学院大学アドミッションセンター規程